

令和8年第3回 加須市議会定例会 一般質問 通告書

日程：令和8年9月10日(木)～9月15日(火)

場所：加須市議会 議場

通告 番号	月日	時間	質問者	会派名	備 考
1	9月10日(木)	午前	池田年美議員	公明党	
2			大内清心議員	公明党	
3		午後	森本寿子議員	公明党	
4			竹内政雄議員	令和会	
5			野中芳子議員	りっけん	
6	9月11日(金)	午前	山本仁美議員	令和会	
7			赤坂和洋議員	令和会	
8		午後	原田 悟議員	令和会	
9			中條恵子議員	公明党	
10			新井好一議員	令和会	
11	9月14日(月)	午前	高橋一夫議員	新政会	
12			宮崎智司議員	新政会	
13		午後	栗原智之議員	新政会	
14			山下雄希議員	新政会	
15			内田 昇議員	令和会	
16	9月15日(火)	午前	池田裕美子議員	麦笛の会	
17			及川和子議員	日本共産党	
18		午後	松本幸子議員	日本共産党	
19			宮代翔太議員	はじめての一步	
20			佐伯由恵議員	日本共産党	

※ 令和8年8月27日現在

※ 会派名は、一部略称で記載しています。

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

2026年 8月 12日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号 (発言順序)	/
----------------	---

議席番号 14 番 氏名 池田年美

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	公立中学校部活動の地域展開について	① 国の取り組み方針は、令和8年度から令和10年度まで「改革実行期間」としている。加須市のスポーツ・文化部の地域展開の進捗状況を伺う。 ・各学校や拠点校への部活動指導員の配置及び地域クラブ活動等の運営団体の確保はどの様に行うのか。 ・現在時点で部活動指導員やクラブ活動が教えられる種目は何種類あるのか。 ・指導者の質と量の確保はどの様に行うのか伺う。 ・地域展開に伴う移動手段（送迎）についてどの様に行うのか。 ・生活困窮世帯の生徒への金銭的支援についての考えを伺う。 ・「地域クラブ活動」計画策定の進捗状況を伺う。 ・平成国際大学や弓道連盟は地域クラブ活動の位置付けになるのか伺う。 ② 市としての部活動改革に対する考え方と今後の展開について伺う。	学校教育部長 教育長
2	庁内向けAIチャットボット導入について	① 市民向けAIチャットボットの導入効果と現状を伺う。 ② 業務効率化の推進が不可欠と考えるが、庁内向けAIチャットボット導入についての考えを伺う。 ③ 庁内からの問い合わせが多い部署だけで無料トライアルや実証実験などを行なってはどうか。考えを伺う。	総合政策部長 総合政策部長 総合政策部長

2枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		④ 加須市DX推進計画に則した職員がスマートに働ける環境づくりについての考えを伺う。	市長
3	生成AIの活用について	① 加須市における生成AIの活用に対する認識と導入状況を伺う。 ② 今後どのような業務への活用を想定し、どのように市民サービス向上へ繋げていく考えなのか伺う。 ③ セキュリティ対策と職員の利用能力（AIリテラシー）向上に向けた取り組みについて伺う。 ④ 生成AI利用ガイドラインの策定状況を伺う。 ⑤ 情報漏洩防止や、AIの事実と異なる回答（ハルシネーション）をした場合の対策をどの様に規定し順守させていく考えなのか伺う。 ⑥ 「正しく安全に使いこなすためのポジティブな指針」が必要と考えるが、単なる禁止条例に終わらず職員の利活用を後押しするための工夫や見直しの仕組みについて考えを伺う。 ⑦ 技術の進化に合わせて定期的に見直すサイクルが組み込まれているか伺う。 ⑧ 県や他自治体との共同利用などによるコスト削減策や、生成AIを全庁的に本格整備する考えはあるか伺う。	総合政策部長 総合政策部長 総合政策部長 総合政策部長 総合政策部長 総合政策部長 市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

R8年 8月 12日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

2

議席番号 21番 氏名 大内 清心

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	中学校における「社会保障ゲーム」の活用について	①本市の中学校において、社会保障制度を自分ごととして考えるための体験型の学習を取り入れることについて、まずはモデル校を選定し、社会保障ゲームを活用した授業を試行的に実施し、その効果を検証することについての考えを伺います。また教員の負担にならないよう、外部講師等を活用した体験型授業についてのお考えを伺います。 ②社会保障をより身近な課題として捉えることができる社会保障ゲームの活用についてのお考えを教育長に伺います。	学校教育部長 教育長
2	いじめや不登校をなくすために (1) SSRの活用について	①全小中学校へのSSR（スペシャルサポートルーム）の設置状況および支援内容、支援員等の配置状況を伺います。 ②学校には行けても教室には入りづらい、集団生活が困難な子どもたちを早期に把握し、SSRにつなげるための仕組みは構築されているのか伺います。 ③今後、全校への設置や支援員の拡充を含め、更なる充実を図るお考えがあるか、また本市のSSRをどのような理念で運営していくのか教育長の見解を伺います。	学校教育部長 学校教育部長 教育長
	(2) いじめ・不登校を防ぐための早期支援とスクールロイヤーの活用について	①本市におけるいじめ・不登校の現状と課題について ・いじめの認知件数及び重大事態の状況 ・不登校児童生徒数の推移と主な要因 ・いじめと不登校の関連について、教育委員会はどのように捉えているか ②スクールロイヤーの活用について ・本市教育委員会における弁護士等への法務相談の現状 ・いじめ事案について、早期の段階から法的な専門家に相談できる体制整備	学校教育部長 学校教育部長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		・学校現場の教職員が、いじめ対応や保護者対応について気軽に相談できる体制を構築する考え ・スクールロイヤーを活用する考え ③国のガイドラインでも、重大事態を防ぐため「平時からの備え」「早期発見・早期対応」「重大化させない取組」が重視されています。そこで、本市におけるいじめを重大化させないための取組について教育長に伺います。	教育長
3	認知症の早期発見・早期予防に向けたVR等のデジタル技術の活用について	①本市における認知症の早期発見・早期対応の現状を伺います。 ②VR機器を使った認知機能セルフチェッカー導入について、令和6年第4回定例会で提案しておりますが、その後検討されたのか伺います。 ③VRの特徴は、検査というよりも、ゲーム感覚で楽しみながら体験できます。そこで、コミセンや集会所、健康づくりイベントなどにおいて、VRを活用した「脳の健康チェック体験会」を開催することについて市長のお考え伺います。	福祉部長 福祉部長 市長
4	「書かない窓口」について	①書かない窓口について、これまで質問してまいりましたが、現在の進捗状況を伺います。 ②具体的な窓口での手続き方法と市民への周知方法を伺います。	総務部長 総合政策部長
5	女性消防団員の活動環境の整備について	①加須市女性消防団員の現在の人数と、その活動内容を伺います。 ②女性消防団員に貸与している制服について、スカート、スラックスなど、どのような選択肢があるのか伺います。 ③消防団員の減少が課題となる中、女性がより参加しやすく、継続して活動しやすい環境を整えることが、女性消防団員の確保・定着につながると考えますが市長の見解を伺います。	環境安全部長 環境安全部長 市長

一般質問通告書

2026年 8月 17日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

3

議席番号 13 番 氏名 森本 寿子

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	米価の安定政策について	令和の米騒動は終わり、現在お米の深刻な過剰の危機に直面しています。その事が2026年産の米価に影響が出始め、生産者の大きな不安材料となっています。 ① 令和8年産出荷契約米概算金単価と前年度比を伺います。	経済部長
		② 出荷契約米概算金単価の変動が生産者に与える影響をどのように捉えているか伺います。	経済部長
		③ 埼玉一の米どころの生産者を守る市長のお考えを伺います。	市長
2	市民の新たな足の確保について	① デマンド型乗合タクシー利用上の市内限定の見直しと、近隣市との連携の考えについて伺います。	総合政策部長
		② 開智未来中学・高等学校が使用する通学バスとの連携で市民の新たな足の確保の可能性について伺います。	総合政策部長
		③ 市民の新たな足の確保について市長のお考えを伺います。	市長
3	こどもまんなか社会の充実に 向けて ・ヤングケアラー支援の充実 について	① 加須市のヤングケアラー支援内容を伺います。	こども局長
		② 昨年ヤングケアラー支援を行った件数と状況を伺います	こども局長
		③ ヤングケアラー支援の充実について伺います。	こども局長

2枚中 / 1枚目

R2. 5. 15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
	・フードリボンプロジェクト支援事業について	① フードリボンプロジェクト支援事業についての認識を伺います。	こども局長
		② フードリボンプロジェクト支援事業の導入について市長のお考えを伺います。	市長
4	SDGs推進の観点から ・コスメバンクプロジェクトについて	① コスメバンクプロジェクトについての認識を伺います。	こども局長
		② コスメバンクプロジェクトとの連携による導入について市長のお考えを伺います。	市長
	・ネーミングライツ推進について	① ネーミングライツについて財源確保対策本部財源対策部会での検討状況を伺います。	総合政策部長
		② ネーミングライツの導入について市長のお考えを伺います。	市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

令和8年8月17日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

4

議席番号 17番 氏名 竹内 政雄

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	令和8年度全国学力・学習状況調査の結果と学力向上の取組について	①小学6年生と中学3年生の学力・学習状況調査の結果について、県の平均と比較して実施科目別に伺う。	学校教育部長
		②小学6年生と中学3年生の現在の学習状況について伺う。	学校教育部長
		③本市における学力向上に向けた取組と成果について伺う。	学校教育部長
		④調査結果を踏まえ、さらに今後の学習にどう生かすかを伺う。	学校教育部長
		⑤教師（新任教師を含む）の指導と研修について伺う。	学校教育部長
		⑥英語教育の現状と英語力向上の取組について伺う。	学校教育部長
		⑦児童・生徒の学力に対する認識と見解について伺う。	教育長
2	加須市宇宙STEAM教育について	①各小・中学校での取組と成果について伺う。	学校教育部長
		②成果を踏まえ、今後の加須市宇宙STEAM教育の取組について伺う。	学校教育部長
		③宇宙・農業・地域をつなぐSTEAM教育の推進・展開について伺う。	市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

令和8年8月18日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

5

議席番号 2番 氏名 野中芳子

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	ネーミングライツへの 取り組みについて	① 現在の取り組み状況を伺います。 ② 特定の施設について試行的に取り組むことへの考えを伺います。 ③ 自主財源確保の一つとしてネーミングライツを進めることへの考えを伺います。	総合政策部長 総合政策部長 市長
2	クビアカツヤカミキリ対策について	① 市内の被害状況（R7年、R8年）を伺います。 ② 補助制度の活用状況を伺います。 ③ 補助制度は予防対策も対象となるのか、予防への取り組みについて伺います。 ④ 市内にある埼玉県環境科学国際センターとの連携について伺います。 ⑤ 市民の協力を得ること含め、根絶に向けての方針を伺います。 ⑥ 伐採後、次世代へ景観を繋ぐための計画やロードマップ作成への考えを伺います。	環境安全部長 環境安全部長 環境安全部長 環境安全部長 環境安全部長 市長
3	プラスチック類中間処理施設 (大利根) について	① 中間処理施設周辺住民の住環境の現状と住民や事業者への市の取り組みを伺います。 ② まだ悪臭が続いていると聞いています。事業契約時の仕様書での環境への配慮についての取り決めはどのようなになっているのか伺います。 ③ 加須クリーンセンターにストックしての処理事業者とのコストの違いを伺います。 ④ 改善できない場合は事業者を変更することへの考えを伺います。	環境安全部長 環境安全部長 環境安全部長 環境安全部長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答 弁 者 職 名
4	コミュニティセンター使用料の減免基準について	① 減免基準統一に向けた現在の取り組み状況といつまでに結果が出るのかを伺います。 ② 加須市立コミュニティセンター条例第11条にある②その他、市長が特別の理由があると認めた時を具体的に説明してください。また、適用された事例はあるのか伺います。 ③ 検討部会など立ち上げ前向きに統一に向けて進めていく考えを伺います。	総合政策部長 総合政策部長 市長



一 般 質 問 通 告 書

令和8年8月20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号 (発言順序)	6
----------------	---

議席番号 4 番 氏名 山本 仁美

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	○小学生の夏休みの過ごし方について	1 加須市では、放課後児童健全育成（学童保育）や加須児童館があります。これを利用している夏休み中とそれ以外の児童の人数や現状を伺います。 2 子どもたちにとっての長い夏休みが終わり2学期が始まったところだと思います。この夏休みで、気になったことがありました。従来行われていたプールや以前行われていたサマースクールや登校日もない学校が多いと聞いています。そんな中、夏休み中に学童に通う児童にどんな配慮がされたのか伺います。 また、家庭の事情で1人、もしくは兄弟で毎日過ごしているような児童もいるようです。生活リズムや体力面コミュニケーション等を考えると学校で毎日が過ごせるようにしたほうが良いのではないかと思いますのでお考えを伺います。	こども局長 こども局長 市長
2	○加須市における文化・芸術の振興施策について	1 文化・芸術の中でも特に美術面での振興策について何度も質問をしてきました。加須市は、文化・芸術、特に美術面に関しての意識レベルや市の取り組みについては県内ではどのくらいの位置レベルにあるとお考えですか伺います。 2 「斎藤与里」の生まれ育った地でありながら美術館どころか常設施設も未だ考えてもらえてないのが現状です。中途半端な取り組みではなく、将来の加須市の文化芸術の振興を見据えた方策等ありましたら伺います。	生涯学習部長 生涯学習部長

2枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
3	○市長の公約の具現化について	1 市政運営の基本的な考え方として、声を聴き、動かす市政にしますと書かれていました。地域別での対面による市民との対話やインターネットを活用したオンラインでの対話を実施しますともありました。また、広報かぞの新連載「市長との対話」の中でも市民の皆さまとの『対話』が欠かせませんとあります。お年寄りから子どもたちまで市民一人ひとりの声に耳を傾け意見を交わすというのもありました。この点について、具体的にどう進めていくのかを伺います。 2 市長が一番に考えていらっしゃる加須駅前開発でやらないではないことは何だと思えますか。特に駅前そのものというより加須駅周辺の南北道路についてのお考えを伺います。 3 公約の中に「田園都市加須を」のキャッチフレーズがありました。そのとらえ方は市長のみならず、市民それぞれも異なったとらえ方をしているかと思えます。その点については、今回は、「行程表」をお作りになり、それを示してくれるというお話でしたが具体的な回答を伺います。	市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

令和8年8月20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

7

議席番号 15 番 氏名 赤坂 和洋

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	本市の災害対策について	①震災及び水害時における市の対応について、お伺いいたします。	環境安全部長 都市整備部長
		②災害時の上水道の非常電源を利用した稼働について、お伺いします。	上下水道部長
		③防災訓練の市民の参加状況について、お伺いします。	環境安全部長
		④震災及び水害時における避難所の運営について、お伺いいたします。	こども局長
		⑤今後の避難所の環境整備について、お伺いいたします。	市長
2	公園について	①現在のこども達の利用状況について、お伺いします。	都市整備部長
		②近隣市のこども達の利用状況について、お伺いします。	都市整備部長
		③今後、屋内型施設への移行に対する市長のお考えをお伺いいたします。	市長
3	本市職員の給与状況について	①昨年改正された職員給与の状況について、お伺いします。	総務部長
		②優秀な人材を確保するため、職員の処遇改善が必要と考えるが、本市独自の手当の創設などに対する市長のお考えをお伺いいたします。	市長
4	加須駅ビル再生並びに駅前活性化について	①東武鉄道との話合いの現状についてお伺いします。	経済部長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答 弁 者 職 名
		②駅ビルの活用に向けた今後の取組についてお伺いします。	経済部長
		③今後、駅ビルを中心とした加須駅北口・南口のまちづくりのビジョンについて、市長のお考えをお伺いいたします。	市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

令和8年8月20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

8

会 派 名 令和会

議席番号 5番 氏名 原田 悟

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	空き家・空き店舗対策、新規就農者育成、魅力ある学校づくり、部活動の展開を移住対策・少子化対策等に総合的に展開する考えについて	加須市の少子化対策・高齢者対策を検討する時に、部署・部局にとらわれずに検討する必要があるのではないかと考えます。 一つ一つの事業ではなく、重なり合った関係を重視して検討・判断する必要があると考えます。 今回は、5事業の個々の事業を精査しその関連性を見つけ出して、加須市の総合的な事業としてはという思いから質問をさせていただきます。 1. 空き家対策からの社会増について 加須市の事業として「空家等対策計画進行管理事業」「空家等実態調査把握事業」「空家等解消対策事業」が報告されています。 行政視察で訪れた「美濃市」 ○空洞化する中心部 ○通過型観光の限界 ○観光インフラの欠如 現状を変える行動がされていました。一つは「老朽化した長屋を県及び市の補助金を活用し改修・整備して活用」しています。 停滞している「空家対策」として「公費で改修・整備し家賃を支払っていただく方式」で空き家・遊休不動産の活用を企画し社会増を図っては、如何か。考えをお伺いします。	環境安全部長

3枚中 / 1枚目

R2. 5. 15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		2. 空き店舗の活用からの社会増について 埼玉県議会6月25日千葉達也氏の一般質問にもあるように「商店街の空き店舗対策」として、民間活力を導入し、民間の知恵を生かした「エリアリノベーション」の検討が必要と考えます。考えをお伺いします。	経済部長
		3. 新規就農者育成からの社会増について 加須市の事業として「新規就農者育成事業 決算額28,529,050円」「担い手育成支援事業 決算額 1,287,064円」あります。 視察先の「北斗市」では、「農家戸数や農業従事者数の減少する中、新規就農者の確保・定着を重要課題として位置付け、関係機関が連携した「北斗市地域担い手センター」を設置し、就農相談から独立後まで一体的な支援を行っていました。 「関係機関が連携し、就農前から就農後まで切れ目のない支援を実施」です。 加須市においても、事業を統一して「担い手の為の窓口」を設置しては如何でしょうか。考えをお伺いします。	経済部長
		4. 加須市魅力ある学校づくりからの社会増について 「加須市魅力ある学校づくり審議会」において真摯な議論が行われていることは承知しています。しかし、「どんな特徴を持った小学校・中学校」が出来上がるのが見えません。「小中一貫校」「義務教育学校」「その他」何を目標しているのでしょうか。お考えをお伺いします。	生涯学習部長

3枚中 / 2枚目

R2.5.15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		5. 新たな魅力ある学校には、魅力ある給食も必要と考えます。地元の食材を使った栄養価・コストも考えたメニューを調理しみんなで食して評価して次へ続けてゆく、他市からうらやましがられる加須市らしい給食の検討が必要と考えます。お考えを伺います。	学校教育部長
		6. 「中学校 部活動」からの社会増について 小学生・中学生は、世界を目指しています。部活動を積極的に活用するのであれば、「加須市に世界を目指す設備・条件」をそろえることも検討してみてはいかがでしょうか。お考えをお伺いします。	健康スポーツ部長
		7. 市長には、議論してきた事を総合的に評価していただき、方向性を示し、加須市の将来像が、市民には当然、市民以外の方からも認められ、社会増につながる行動が必要と考えます。 市長のお考えをお伺いします。	市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

令和8年8月20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

9

議席番号 22 番 氏名 中 條 恵 子

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	魅力ある学校づくりについて	①基本計画（骨子案）に対する意見募集の結果について説明してください。	生涯学習部長
		②第7回（8/6）審議会の内容について説明してください。	生涯学習部長
		③基本計画（素案）の作成状況について説明してください。	生涯学習部長
		④意見交換会の実施計画について説明してください。	生涯学習部長
		⑤本市が目指す魅力ある学校とはどのような学校なのかお考えを伺います。 (義務教育学校を目指すのか、小中一貫校を目指すのか等)	教 育 長
2	地域防災力向上のために	①避難所としても活用できる小学校体育館へのエアコン設置についての考えを伺う。（県内の設置状況、統廃合による地域要望を踏まえた跡地活用も含めて）	生涯学習部長
		②トイレトラック・トイレトレーラーの導入についての考えを伺う。	環境安全部長
		③キッチンカーの活用についての考えを伺う。	環境安全部長
		④ランドリーカーの活用について伺う。	環境安全部長
		⑤市内民間におけるトイレカー・キッチンカー・ランドリーカーの災害時応援協定等対策について伺う。 (保有台数は把握できているのか等)	環境安全部長

2枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和 8 年 第 3 回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		⑥段ボールベッドの備蓄状況について説明してください。 (今後の備蓄についても含めて)	環境安全部長
		⑦ストーマ装具の預かりについての考えを伺う。	福祉部長
		⑧①から⑦を踏まえ更なる地域防災力向上のための方策についての市長の考えを伺います。	市 長
3	「終活」出前講座について	①市としての「終活」支援の現状について説明してください。	福祉部長
		②住宅の「終活」についての現状を伺う。	環境安全部長
		③「終活」出前講座の実施についてのお考えを伺う。(これまでの終活説明会についても説明してください。)	福祉部長
4	高齢者支援について	①物価高騰の影響を受けている高齢者への市としての今年度の支援について説明してください。	福祉部長
		②高齢者応援絆サポート券配布についての考えを伺う。	市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

令和8年8月20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号 (発言順序)	10
----------------	----

議席番号 18番 氏名 新井 好一

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	埼玉一の米どころを守り、発展させるために (1) 加須市の米の作がらや価格動向について	昨年は異常な集荷競争で、概算金は3万円を超す状態であった。本年は一転、米あまりで、米の価格は大幅に下落している。加須市にとって米政策の安定は重要な課題である。	
		①高温障害・カメムシ対策について伺う。	経済部長
	(2) 農業支援について	②米の価格動向について伺う。	経済部長
		①大規模農家へのスマート農業支援について伺う。(RTK基地局の整備状況)	経済部長
		②ほ場の拡大について伺う。	経済部長
		③中小零細農業への支援について伺う。	経済部長
2	天然記念物オニバスの保存と活性化のために	令和8年のオニバスフェスタは生育状況不良のため中止となった。	
		①最近のオニバス池の状況について伺う。	北川辺総合支所長
		②生育不良の原因追及について伺う。	北川辺総合支所長

2枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和 8 年 第 3 回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
3	高橋市長の市政運営について	4 月に高橋新市長となり、現在、市長としてのリーダーシップが求められている。 ①市長は所信表明の冒頭で、「声を聴き、動かす市政にします」と述べられた。市民から寄せられる声や要望に対し、既存の制度の見直しなど「やれることは速やかに」実行に移すことが重要である。実際に施策や対応を動かすにあたり、どのようなスピード感を想定しているか、市長の考えを伺う。	市長
		②①を踏まえ、「動かす市政」の方針を具現化するのが、令和 9 年度予算編成であるとする。重要施策をどのように予算に反映させていくのか、現時点での進捗状況や優先順位等、市長の考えを伺う。	市長

令和8年 8月20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

11

議席番号 8 番 氏名 高橋 一夫

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	加須市における、埋蔵文化財の保存と観光考古学の観点を活かした地域活性化について	① 長竹遺跡が持つ、『当時の生活を丸ごと現代に伝える貴重な歴史的、学術的価値』について、市として、どのように評価、認識しているのか伺います。 ② 市民や事業者に対する、遺跡の周知徹底と、法的手続きの遵守を徹底するため、また、歴史的遺産を記録に留める観点から、現地への案内看板の設置や、遺跡マップの周知を図るべきと考えますが、市の考えを伺います。 ③ 長竹遺跡をはじめとする、市内の貴重な埋蔵文化財について、市指定文化財等への指定、保護を進める考えはありますか。また、市全体として文化財を計画的に保護、活用するための『文化財保存活用地域計画』の策定状況と今後の計画（スケジュール）について、市の考えを伺います。 ④ 長竹遺跡をはじめとする歴史遺産と、道の駅や三県境、渡良瀬遊水地などの、観光資源を『点』としてみるのではなく、周遊ルートとして結び付け、『面』による、観光客の集客や地域経済の活性化（観光消費）につなげる、観光考古学の視点を取り入れた観光連携施策について、市の考えを伺います。	生涯学習部長 経済部長

2枚中 / 1枚目

R2-5.15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		⑤ 市民や来訪者が加須市の歴史、文化財を身近に楽しみ、学べる体験型学習の充実やデジタル技術を活用した発信について、行政（教育委員会）と観光振興課、さらには、観光協会との連携も踏まえ、どのように取り組むのか、市の考えを伺います。	生涯学習部長
2	加須市のまちづくりについて	① 花崎南地域の開発について、要望も出ているようですが、花崎南地域の開発について、どのように考えているのか伺います。 ② 加須市全体の今後の開発、まちづくりについて、どのようにお考えか伺います。	都市整備部長 市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

令和8年8月20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

12

議席番号 9番 氏名 宮 崎 智 司

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	企業誘致と都市計画手続きについて	① 自治体が企業誘致に積極的に取り組む目的について、市の考え方をお伺いします。 ② 企業誘致に取り組む当市のセールスポイントについてお伺いします ③ 市内には11か所の工業団地が市街地開発事業として整備され、約416ヘクタール、約260社の企業が立地されています。市内全体での立地企業数・業種についての状況を統計上（経済センサス）での比較でお伺いします。 ④ 企業誘致は地域経済の活性化・雇用促進・流入人口増による人口減の抑制・担税力強化につながる重要な施策です。過去3年間ににおける人口動態・担税力（法人市民税・固定資産税等）の状況についてお伺いします。 ⑤ 都市計画法第34条12号産業系指定を行い、現在まで63.5ヘクタールを指定し、企業進出を進めておりますが、指定区域の企業の状況と今後、指定区域を増やしていくのかお伺いします。 ⑥ 現在の指定区域内の未利用地の状況と今後の対策についてお伺いします。 ⑦ 総合振興計画改訂版の土地利用構想図において、産業系ゾーン指定の適地が増加し、都市計画マスタープランでは、工業集積検討地として、さ	経済部長 総務部長 都市整備部長

3枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		らに複合的な土地利用検討地などが図られ、企業誘致を積極的に推進していく計画が示されました。現在都市開発事業として416ha、産業系12号として63.5ha、計479.5ha 加須市都市計画区域面積の4.3%に企業立地していますが、総合振興計画、マスタープランで示されている産業系土地利用面積はどの程度予測しているのかお伺いします。 ⑧ 埼玉県広域都市計画圏の工業系市街化拡大フレームがありますが、加須市の状況と今後の対応についてお伺いします。 ⑨ 企業誘致には、敷地・インフラ整備が整ってなければなりません。さらに企業誘致を促進していくためには誘致活動・企業相談・都市計画手続きなどワンストップサービスも必要と考えます。組織編成等を含め今後の企業誘致に向けた考えについてお伺いします。 ⑩ 企業誘致を促進するためには、交通・気候・災害・電力・水資源などの環境が必要ですが、迎える自治体にも企業に対してインセンティブが必要と考えます。埼玉県では、産業立地促進補助金、34市町では独自の補助金等に係る優遇制度・9市町では税の優遇制度を企業誘致条例を制定して実施しております。加須市も条例制定による優遇制度も必要と考えますが、市の見解をお伺いします。	市長 市長
2	公共施設等総合管理計画（改訂版）について	① 公共施設全体のマネジメントを図る加須市公共施設等総合管理計画推進本部を設置し、施設分類ごとに分科会を設け方向性、進行管理を行っておりますが、現在の状況と統廃合・複合化をはじめ維持改修などの実施計画についてお伺いします。 ② 公共施設の耐震化の状況についてお伺いします。	総合政策部長 都市整備部長

令和8年 第3回 定例会

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		③ 市有建築物の耐震化計画において、耐震化が図られていない建築物として13棟を統廃合を視野に耐震化・建て替えなど耐震化を図るとされています。今後の方針についてお伺いします。 ④ 旧耐震基準で建築されたコミュニティセンターが8棟あります。計画の個別施設計画では他の施設への転用・複合施設建て替え、大規模改修・修繕などに短期的に再整備すると計画されております。また市有建築物の耐震計画では目標年度を令和12年度と明記しております。今後の実施計画について、特に優先順位が高い志多見地区・礼羽地区などのコミュニティセンターについてお伺いします。 ⑤ 国の基準による市有建築物の耐震化率については97.2%となっておりますが、それ以外の市有建築物で不特定多数が利用する施設では第一保育所と第四保育所は統合により新築されますが、地域のコミュニティの場であるコミュニティセンターにおいては8棟が旧耐震基準の建物です。東京湾北部・茨城県南部を震源とするマグニチュード7クラスの発生確率が高く想定されている地域に位置する本市において、耐震改修を含む市有建築物の大規模改修が喫緊の課題と考えております。住宅の耐震改修も遅々として進まない状況ですが、公共施設の耐震化は必要です。市の総合的な判断をお伺いします	総合政策部長 市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

R8年 8月 20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

13

議席番号 7番 氏名 栗原智之

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	北埼玉医師会准看護学校の移転について	① 10万人あたりの医師数、看護師及び准看護師の状況を全国や県平均などと比較した本市の医療体制について伺います。	健康スポーツ部長
		② 令和8年3月19日に、「北埼玉医師会准看護学校の移転に関する協定書」を締結しましたが、これまでの准看護学校移転協議の経過と進捗状況について伺います。	健康スポーツ部長
		③ 移転が決定した際には、土地および建物の貸借に関する契約を結ぶ必要があると思いますが、契約の方法および内容（金額、期間、貸借期間中の経費など）について伺います。	総合政策部長
		④ 本市における医療介護人材確保対策は、高齢化の進む当地域では非常に重要であり、その人材不足を補うための准看護学校ですが、北埼玉医師会によると運営状況が厳しく、毎年、赤字補填していると伺っております。学校によっては、自治体から補助金をもらって運営しているところもあるが、市として、准看護学校の運営に対する支援について伺います。	市長
		⑤ これまで、本市の医師会は、特定健診受診率向上への協力や、新型コロナワクチン接種対応、また、医療介護に関する様々な事業を市と協力し地域医療を行ってまいりました。今回、本市の地域防災計画にあるフェーズフリーに基づき、立地環境を生	市長

4枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		かし、准看護学校のみならず、もしものときの、災害時における救護所設置や必要防災用品の備蓄等の提案も医師会から伺っておりますが、市民のために、本市としてどのような支援協力を行うのか伺います。	
2	民間団体等の支援および協力体制による本市の有害鳥獣対策について	① 有害鳥獣被害の現状と推移について、令和8年度当初予算資料によると、アライグマの捕獲数は令和5年度の424件から増加傾向にあり、令和8年度には900件を見込んでいます。また、イノシシについても令和6年度の15件から令和8年度には70件に達する見込みであり、現状、渡良瀬川周辺のみならず、利根川河川敷や市内においても目撃情報や農作物被害が深刻化しています。特にアライグマやハクビシンによる家庭菜園や水稻への被害、空き家への侵入といった生活環境被害の実態、および人的被害の懸念について、市はどのように把握し対策を行っているのか伺います。	環境安全部長
		② 本市は令和8年度6月補正予算において、1頭あたりのアライグマ等の捕獲委託料を大幅に増額する措置を行いました。しかし、現状の業者委託では「土日の回収ができない」「罠を回収時に持ち帰るため捕獲の空白期間が生じる」といった効率面での課題があり、市民からの苦情も寄せられています。一方で、地元の猟友会からは「各地区の会員が対応すれば迅速な回収や土日対応が可能であり、コストも大幅に抑制できる」との前向きな意見も伺っております。これらを踏まえ、アライグマ等の有害鳥獣捕獲について、猟友会と協力した対応について伺います。	環境安全部長
		③ 近年、イノシシが市街地に出没する事例が増えていますが、住宅密集地では通常の銃猟が制限されます。これに対し、令和7年に改正された鳥獣	環境安全部長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		保護管理法に基づく「緊急銃猟制度」では、市町村の判断で人の日常生活圏での銃猟が可能となりました。現在、本市において緊急時に対応できる技能を持った捕獲者は非常に限られているとの指摘があります。市民の安全を守るため、警察や猟友会と連携した「緊急銃猟」のマニュアル作成や実地訓練、および従事者への適正な報酬（日当等）の確保について、市の考えを伺います。	
		④ 本市のこれまでの事業を通じて、有害鳥獣対策には、個人や団体などによる対策事業を行っておりますが、地域ぐるみでの取組も必要です。農水省の資料にもあるとおり、市、猟友会、農業者、住民等、地域の様々な関係者で組織された協議会を設立し、地域の背景に応じた有害鳥獣被害対策について、協議の元、鳥獣被害防止特措法における被害防止計画を作成することを進めており、計画の内容に応じて、国の補助金を活用することも可能となっております。今後、本市として地域の理解を得ながら、更なる有害鳥獣対策を行う上で、先行事例を参考に、上記の計画作成や協議会設立への見解を伺います。	経済部長
		⑤ 有害鳥獣対策事業を展開する自治体事例では、国の補助金制度を活用した集落支援員制度による猟友会の方々にイノシシ等の有害鳥獣捕獲を依頼しているケースや、鳥獣被害防止特措法の被害防止計画と合わせて非常勤公務員となる鳥獣被害対策実施隊の設置を行っております。これらの取組について、現状から必要だと考えられますが、本市では導入検討を行うのか伺います。	環境安全部長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		⑥ 地域の協議会の活動を実務面で支え、持続可能なものにするためには、市担当課に加え人的支援が必要あり、有害鳥獣対策は、農地、空き家、河川敷など、それぞれの担当課を跨いだ調整が求められます。前回の議会で提案させていただいた「まちづくり会社」が事務局機能を担い、関係者や担当課間の調整や、複雑な交付金申請や、有害鳥獣対策実施者への適正な報酬支払（税務処理含む）などの実務を代行することで、行政や猟友会の負担を軽減できます。また、将来的には補助金を活用しながら、ジビエ製品の開発や販路開拓など、公民連携による地域課題解決型事業として展開することで、市の財政負担を抑えつつ成果を出す仕組みが構築できると考えますが、市長の考えを伺います。	市長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

2026年 8月 20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

14

議席番号 10 番 氏名 山下 雄希

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	公共施設の老朽化と将来世代への財政負担について	加須市には、庁舎、学校、公民館、コミュニティセンター、文化施設、スポーツ施設、福祉施設など、多くの公共施設があります。これらの施設は市民生活を支える重要な施設である一方、建設から長期間が経過した施設も多く、今後一斉に大規模改修や建替えの時期を迎えることが予想されます。 初めに、現在加須市が保有している公共施設の施設数と、そのうち建築から30年以上、40年以上経過している施設数について伺います。	総合政策部長
		次に、公共施設の維持管理に年間どの程度の費用が掛かっているのか、直近3年間の推移について伺います。 また、加須市公共施設等総合管理計画では、今後、公共施設や道路、橋りょうなどのインフラを含め、多額の更新費用が必要になると予想されますが、今後10年間及び計画期間全体で、公共施設等の大規模改修、建替え、更新にどの程度の費用が必要になると見込んでいるのか伺います。	総合政策部長
		人口減少や少子高齢化が進むことで、生産年齢人口の減少による税収への影響や社会保障関係経費の増加も予想されます。そのような中、現在ある全ての公共施設をこれまでと同じように維持していくことは、将来的に難しくなると考えますが、市の認識について伺います。	総合政策部長
		今後も全ての施設を残すという考えではなく、利用状況、老朽化の状況、維持管理費、将来の人口、市民ニーズなどを総合的に検証し、統廃合、複合化、機能転換などを進めていく必要があると考えます。また、公共施設の再編について、どのような方針で、今後どのように進めて	総合政策部長

4枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		いくのか伺います。	
		また、公共施設の統廃合については、市民にとって身近な施設が対象となることから、行政だけで決定するのではなく、更新費用や維持管理費、利用者数などの情報を市民に分かりやすく示し、将来の加須市に必要な公共施設について市民と一緒に考えていくことが重要と考えますが、市の考えを伺います。	総合政策部長
		公共施設は一度建設すれば、その維持管理や更新に数十年間にわたり費用が発生します。今の世代が全ての施設を残すという判断をすれば、その費用を負担するのは将来の子どもたちや若い世代になります。「施設を残すこと」を目的とするのではなく、「必要な行政サービスを将来に残すこと」を目的として、公共施設のあり方を見直す時期に来ていると考えます。将来世代に過度な財政負担を先送りしないため、公共施設の統廃合、複合化、機能転換を含めた公共施設再編について、今後どのように進めていくのか、市長の考えを伺います。	市長
2	休日の部活動の地域展開について	少子化が進む中でも、子どもたちが将来にわたり継続的にスポーツや文化芸術活動に親しむことができる環境を確保するとともに、教員の働き方改革を進める観点から、全国的に休日の学校部活動の地域展開が進められております。初めに、市内中学校の運動部及び文化部の部活動数について伺います。	学校教育部長
		次に、加須市における休日の部活動の地域展開について、現在の進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。	学校教育部長
		先日、会派の行政視察で愛知県一宮市を訪れ、休日の部活動の地域展開について視察をさせていただきました。一宮市では、休日部活動の地域展開に向け、地域クラブ活動の受け皿となる団体に補助金を交付し、モデル事業を実施するなど、段階的に受け皿を増やす取組を進めております。また、既存のスポーツ・文化団体だけに頼るのではなく、企業や地域、大学、希望する教職員など、地域全体から指導者となる人材を発掘し、学校だけでなく地域全体で子どもたちを支えてい	学校教育部長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		く体制づくりを進めております。加須市においても、市内のスポーツ団体や文化団体だけでなく、企業、大学、地域人材、退職教員などと連携した「地域指導者人材バンク」のような仕組みを構築し、地域全体から指導者を確保していく必要があると考えますが、市の考えを伺います。	
		また、一宮市では、地域クラブが学校施設を利用しやすくするため、学校体育施設へのスマートロック導入を進めるなど、学校施設を地域活動に活用する環境整備も進めております。加須市においても、地域クラブの活動場所として学校体育館、グラウンド、武道場等を積極的に活用し、地域指導者が学校教職員の対応を必要とせず活動できる仕組みを構築する必要があると考えますが、市の考えを伺います。	学校教育部長
		地域展開は課題だけではなく、子どもたちの可能性を広げる機会にもできると考えます。これまでの学校単位の部活動では、通っている学校に希望する部活動がなければ、その競技や文化活動を諦めざるを得ない場合もありました。しかし、学校単位から地域単位へと活動の枠を広げることで、学校の垣根を越えて、子ども自身が希望するスポーツや文化芸術活動を選択できる環境をつくることも可能になると考えます。一宮市のように、行政、学校、地域団体、企業、大学等がそれぞれの強みを生かし、地域全体で子どもたちの活動を支える仕組みを加須市でも構築していくことを提案しますが、市の考えを伺います。	学校教育部長
		休日部活動の地域展開を、単なる「教員の働き方改革」や「学校から地域への業務の移行」とするのではなく、これまで以上に子どもたちの選択肢を広げる改革にしていくことが重要であると考えます。自分の学校に希望する活動がないから参加できないという子どもを生み出すことなく、通っている学校に左右されず、全ての子どもたちが希望するスポーツや文化芸術活動に参加できる環境を加須市としてどのように構築していくの	教育長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		か、教育長の考えを伺います。	

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

令和8年8月20日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

15

議席番号 16番 氏名 内田 昇

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	未利用施設の今後の利活用について	これまで多くの市民が利用してきた施設が現在使われなくなってきておりますが、今後の利活用等について伺います。	こども局長 総合政策部長
		① 休園中となっている騎西地域の各幼稚園の園舎・園庭の現在の活用状況について伺います。 また、当該施設の今後の具体的な利活用方針・その時期について伺います。	
		② キャスルきさいに有る旧老人福祉センターの今後の具体的な利活用方針・その時期について伺います。	騎西総合支所長
		③ 国道122号線沿に有る旧騎西文化会館の今後の具体的な利活用方針・その時期について伺います。	騎西総合支所長
2	騎西地域の途中で止まっている優良な道路について	④ 騎西中央公園内に有る旧管理人住宅の今後の具体的な利活用方針・その時期について伺います。	騎西総合支所長
		① 済生会通りは、加須駅南口から騎西商店街までが開通しているが、その先122号線までの延進は計画しているのか。また、この道路の最初の計画と今後の進捗について伺います。	騎西総合支所長
		② 騎西城の東側の道路は藤の台工業団地から122号線を抜けて騎西城の地点で行き止まっている、南側においても工業団地内で終わっているが、当初の計画では、どこまで延伸する予定か、また行き止まっているその理由と今後の延伸工事の予定を伺います。	騎西総合支所長

2枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
3	駅南側全体の特性を生かした加須駅周辺のまちづくり構想について	「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」について、本構想は、その内容次第で本市の将来の発展の大きな目玉となりうる、ポテンシャルを秘めた地域と考えます。そこで、駅南側全体の特性を生かした計画へと塗り替える視点から伺います。	都市整備部長
		① 現在取り組んでいる「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」について、進捗を伺います。	
		② 「病院を核とする」とは、「健康」「長寿」、そして若いも・若きも生き生きと暮らせる街を意味するものと考えます。その為には市民の日常のスポーツ(旧騎西高校のグラウンドでのサッカー、田ヶ谷総合グラウンドでの女子野球、ふじアリーナでの武道等)や文化・芸術に親しむ施設(図書館・美術館の新設等)との連携が極めて重要なカギとなると考えます。このような健康寿命の延伸と、スポーツ・文化・芸術施設との連携を通じた駅南側全体のまちづくり構想について、市としてどのようなお考えをお持ちであるか伺います。	市長
		③ 駅南口の種足エリアには埼玉県環境科学国際センターや特別支援学校等が立地しています。これら施設の立地も考慮し、自動運転バスを導入することにより、南側地域全体の街づくりの構想を実現することが可能となります。まさしく将来の加須市の発展を大きく左右する、かつて無い一大プロジェクトであります。今一度原点に戻し、市の魅力を最大限に活かし、子育て世代の移住促進をも見据えた計画を一から作り直す事を提案しますが、市長の決意を伺います。	市長

一般質問通告書

2026 年 8 月 20 日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号 (発言順序)	16
----------------	----

議席番号 3 番 池田裕美子

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	野中土地地区画整理事業の拡大する損失と損失を最小限にとどめる方策について	(1) 公告(2001年)から直近までの事業対象地区人口の年代別増加数について ①0歳以上18歳未満 ②18歳以上65歳未満 ③65歳以上 ④増加数の合計	大利根総合支所長
		(2) 財政の振り返り(①～⑥と⑧～⑩は公告から合併前年度と合併年度から昨年度に分けて) ① 税収額 ② 保留地売り払い額 ③ 一般財源からの繰出し額 ④ 市債(来年度分を含む) ⑤ 国からの支出金額 ⑥ 県からの支出金額 ⑦ 25年間の収入の総額 ⑧ 工事請負費 ⑨ 委託料 ⑩ 補償補填・賠償額 ⑪ 25年間の支出の総額 ⑫ ⑪の値を現在の対象地区の人口で割った値	大利根総合支所長
		(3) 2010年合併時の状況の振り返り ①事業計画変更に至らしめる「計算式」を立てる上で「要素」となるものは何だったのか。 ②新加須市の市街化区域(住居系・商業系)の全面積は。そして、それに占める本事業対象地区面積の割合は。	大利根総合支所長
		(4) 2022年の振り返り ①資金計画内訳変更と計画期間延伸に至らしめる「計算式」を立てる上で	③の他 大利根総合支所長

令和8年 第3回 定例会

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		「要素」となるものは何だったのか。 ②国の防災・減災方針にそぐわない本市の条例改正と本事業との関連はあったのか。 ③みなす課税開始および減免措置の概要と課税対象者の人数は。 ④新加須市の市街化区域（住居系・商業系）の全面積は。そして、それに占める本事業対象地区面積の割合は。	③総務部長
		(5) 直近3年間の振り返り（年度別） ①仮換地指定率の推移について。 ②仮換地同意率の推移について。 ③使用収益開始率（現在は57.9%）の推移について ④保留地が最後に売れたのはいつか。保留地全体の面積は。その何%が売れ残っているのか。 ⑤国庫支出金の予算額と収入済み額の差額が大きい理由は。 ⑥審議委員の声にはどういうものがあるのか。 ⑦評価員の役割は何か。	大利根総合支所長
		(6) 市内他地区の開発や市民感情に与えた負の影響 ①本事業によって加須駅ビルの行政利用や加須駅周辺活性化に予算を回せなかったといえるか。 ②本事業によって他地区の市街地化推進を阻んだといえるか。 ③歴史ある農村集落の生活インフラ整備が推進できないことと本事業の存続とは関連があるといえるか。不公平・不公正から感情的分断が生じているという認識はあるのか。 ④地権者の不満を十分に把握しているといえるか。 (3枚目に続く)	市長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		(7) 今年度の状況 ①調整池工事が昨年度から始まった理由は。 ②加須市の市街化区域全体面積に占める本事業対象地区面積の割合は。	大利根総合支所長
		(8) 経済的損失や行政への信頼度低下を招く「続行」か、あるいは補償費等が発生する「終結」かの選択 ①2032年まで「続行」することの検証 ア) 保留地を全く売れないという前提で計算すると、一般財源からいくら繰り出すことになるのか。 イ) 浸水ハザードエリアへの居住誘導は心配ではないのか。 ウ) もう一つの調整池造成の工事費の推定費用は。 エ) 販売を外部に委託する方策について考えたのか。 オ) 一般財源からの繰出しをやめる考えはないのか。 ②2032年より前の「終結」の検証 ア) 地権者等への補償金等のシミュレーションをされたのか。 イ) 使用収益開始にならない区画を本事業から外す考えはないのか。	市長
		(9) 10年間で完了させた旧加須市のかつての土地区画整理事業（花崎駅北、川口など）との違いを分析したことがあるのか。	都市整備部長
		(10) 土地区画整理事業を途中で終結させた他市の事例を研究したことがあるのか。	都市整備部長
		(11) 加須駅周辺の開発こそ最優先課題であることは間違いないのだから、まずはそこに適切な予算を措置すべきではないのか。	市長

2026年 第3回 定例会 一般質問 通告書



2026年8月21日提出

加須市議会議長 金子正則様

次のとおり通告します。

議席番号 **25番** 氏名 **及川 和子**
 通告番号
(発言順序)

17

番号	質問事項	質問要旨	答弁者職名
1	誰もが安心して医療が受けられる国民健康保険の運営について	①加入者の状況について以下の点を質問する ・1世帯当り、1人当りの国保税 ・平均所得 ・1人当たりの医療費 ・所得に対する負担率 ・滞納世帯数と差し押さえの状況について説明を求める ・国保税引上げの窓口相談件数 ②来年度法定外繰入をなくすと加入者の負担増はいくらになるか説明を求める ・保険税水準の統一を中止し、一般会計からの繰入を行い、国保税の引き下げを求める。 ③子どもの均等割の廃止を求める	健康スポーツ部長 総務部長 健康スポーツ部長 健康スポーツ部長 市長 市長
2	誰一人取り残さない防災対策について	①災害時要援護者について以下の点を問う ・登録者数とマッチング率、制度の周知について説明を求める ・支援者がいなければ災害時要援護者は逃げ遅れてしまう。民生委員等と市が協力してマッチング率を上げることを求める ②避難所の環境を整備し、避難時とその後の災害関連死を防ぐために以下の点を質問する ・避難者が最も必要とするベッド、トイレについて災害協定を結ぶ企業から確実に運搬できるのか問う ・水道の重要給水施設管路の耐震化	福祉部長 環境安全部長 上下水道部長

番号	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者 職 名
3	人口減少が深刻な北川 辺地域のまちづくりについて	公共施設が無くなると地域が寂れ人口減少が加速する。北川辺地域の活性化に向けて以下の点について質問する ①合併時と今年度の人口変動について ②地域医療を支える直営診療所の閉鎖による住民不安の声がある。住民福祉向上のために利活用することを問う ③体育館統廃合に係って北川辺体育館利用者は小中学校体育館の利用が可能なのか問う ・エアコンのある北川辺体育館2階を補修し、市民の利用を再開することを求める ④図書館アンケートで4館存続が多数の声である。大利根図書館の位置づけについて問う ⑤とりわけ人口減少が顕著な北川辺地域は身近な公共施設は存続し、地域住民が住んで良かったといえる地域づくりが必要です。 「日本一移動しやすいかぞ」、「日本一子育てしやすい田園都市かぞ」を実現する市長の公約について問う	総務部長 北川辺総合支所長 健康スポーツ部長 生涯学習部長 市長



様式第2号（第3条関係）

2026年 第3回 定例会 一 般 質 問 通 告 書

2026年8月21日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

議席番号 23番 氏名 **松本幸子**

通告番号
(発言順序)

18

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	エアコン設置の補助制度について	全国各地では「最高気温40℃以上」を指す「酷暑日」が記録されている。加須市では連日、市民に防災無線で「エアコンなどの使用により熱中症に注意しましょう」と注意喚起を行っている。しかし、市民の中にはエアコンが購入できない世帯もあり、さらに来年度の「エアコン2027年問題」でエアコンの価格が高騰し低所得者にとってますます設置が厳しくなる。猛暑から市民の命・健康を守るため以下について質問する。 ① 生活保護世帯について ・ エアコン未設置の件数と状況について ・ 市独自に設置補助を求める。市長の考えを問う。 ② 一人暮らし高齢者世帯について ・ 世帯数について ・ エアコン設置実態調査について ・ 未設置世帯に市独自の補助を	福祉部長 市 長 福祉部長 福祉部長 市 長
2	介護保険制度の改善について	介護保険制度は高齢者の介護を社会全体で支えるため、2000年4月に施行されて27年。3年ごとの事業計画は来年度で第10期を迎える。施設整備、通所・訪問介護事業者の支援、介護職員の人材確保などについて、以下の質問を行う。	

2枚中 / 1枚目

R2.5.15~

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		① 入所施設の整備について ・ 待機者数と最長待機年数と人数について ・ 第9期事業計画における特養100床増床の進捗状況及び多床室の設置について ・ 施設待機者解消に向けての考えについて ② 通所、訪問介護事業所について ・ 市内事業所数 ・ 利用者の人数 ・ 事業所の撤退、倒産等の状況 ③ 介護職員の確保について ・ 処遇改善の申請者数 ・ 介護職員の人数 ・ 基本報酬の引上げを国に求めることについて ④ ケアマネージャーの安全確保 ・ ハラスメントの被害状況 ・ 国の複数訪問の補助及び申請状況 ・ ケアマネの増員に向け、市の支援について	福祉部長 福祉部長 市 長 福祉部長 福祉部長 市 長 福祉部長 福祉部長 市 長
3	加須駅南口の北埼玉医師会 准看護学校の開校及び駅前 トイレの設置について	加須駅南口の旧医療診断センターへの准看護学校移転について、加須市、羽生市、医師会、医師会准看護学校の4団体で協定書を締結。移転検討協議会及び幹事会で協議、検討し来年4月の開校を目指すと、市は3月市議会で答弁している。そこで以下について質問する。 ① その後の協議の進捗状況について ② 施設の改修及び費用について ③ 開校に向けて今後の予定について ④ 南口にトイレがないため北口まで行かなければならない。駅利用者の利便性の観点から、南口にトイレがどうしても必要。准看護学校の敷地内等に公衆トイレの設置を求める。市長の考えを問う。	健康スポーツ 部 長 市 長

令和8年 第3回 定例会

一般質問通告書

令和8年 8月21日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

通告番号 (発言順序)	19
----------------	----

議席番号 1番 氏名 宮代 翔太

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	保育所における事故発生時の対応について	①R8年4月、市立保育所において発生した転倒事故において、今回の事故を受け、市は事故対応上の課題をどのように認識し、どのような再発防止策を講じたのか伺う。	こども局長
		②加須市立の保育所では、園児に医療機関の受診が必要と考えられるけが等が発生した場合、基本的には「保護者に迎えを依頼する」または「救急車を要請する」という二つの対応が取られていると承知しているが、現在もその対応であるか伺う。	こども局長
		③市立保育所における直近5年間の日本スポーツ振興センター災害共済給付の申請件数及び救急要請件数について、それぞれ年度別に伺う。	こども局長
		④医療機関の受診が必要と考えられるものの、救急車を要請するまでの緊急性はないと判断した場合において、保護者がすぐに迎えに来られない場合、どのような対応をするのか伺う。	こども局長
		⑤子どもの安全を最優先に、職員が医療機関へ連れていくことのできる人員配置及び対応体制を早急に整備すべきと考えますが、市長の見解を伺う。	市長
2	保留児童・待機児童について	①令和8年4月1日時点での待機児童数と保留児童数、併せて保留児童とした理由と、その年齢の内訳を伺う。	こども局長

4枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和8年 第3回 定例会

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		②求職活動の休止及び育児休業中を理由として待機児童から除外する場合の判定については、令和7年4月入所分から、二次選考終了後に対象者全員へ個別に通知を発送し、保護者の状況や意向を確認する方法に改善されたと認識しているが、令和8年4月入所分についても、対象者全員に対して同様の確認を行ったのか伺う。	こども局長
		③過去の一般質問において、特定の保育施設のみを希望している児童の判定について市は、「個々の通園可能性を判別することは実務上困難であるため、市内全域を通園可能な範囲として取り扱っている」という旨の答弁があった。現在も、保護者の居住地、交通手段、通勤経路、送迎に要する時間及び施設の開所時間などにかかわらず、市内全ての保育施設を一律に通園可能な施設として判定しているのか伺う。	こども局長
		④特定の保育施設のみを希望していることを理由として待機児童から除外した児童について、市は、一人ひとりの交通手段、通勤経路、施設の立地及び開所時間などを踏まえて、現実に通園可能な代替施設を特定しているのか。 また、その施設に当該児童の年齢に対応した空き枠が実際にあることを確認した上で、保護者へ個別に案内し、その案内内容及び保護者の意向を記録しているのか伺う。	こども局長
		⑤令和8年4月1日時点における市内保育施設について、次の項目を年齢別に伺う。 ・利用定員などに基づく、定員上の受入可能人数 ・保育士の配置状況などを踏まえた、実際の受入可能人数 ・実際の入所児童数 ・実際の空き枠数	こども局長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答 弁 者 職 名
		⑥待機児童数がゼロである一方、保育施設への入所を希望しながら入所できず、保留児童となっている児童がいます。市長は、待機児童ゼロという数字だけでなく、保留児童の人数や理由、実際の受入可能人数を踏まえ、保育施設へ入所できず困っている家庭の実態を把握し、必要な受入体制の整備や支援を行うことについて、どのように考えているのか伺う。	市長
3	保育士確保策について	①市内保育施設では、国の配置基準を上回り、施設平均で約3.7人多く保育士を配置している。市は、この配置を余裕のある配置と認識しているのか、それとも、安定的な保育運営に必要な人員と認識しているのか伺う。	こども局長
	保育士の処遇改善補助について	②市は、令和7年度に民間保育施設の常勤職員に対する処遇改善補助を、1人当たり年額9,000円から6万円へ増額した。しかし、増額の根拠とした全国平均を上回る水準には至っておらず、人材確保における加須市の優位性も十分とは言えない。補助額をさらに増額することについて、市長の見解を伺う。	市長
		③保育士奨学金返済支援事業について、次の2点を伺う。 1点目に、令和7年3月議会における対象要件の緩和を検討するとの答弁を受け、具体的にどのような検討を行い、どのような結論に至ったのか。 2点目に、制度開始から新たに支援対象となった保育士が実人数で1人という実績を、保育士確保策としてどのように評価しているのか。	こども局長
		④保育士奨学金返済支援事業の利用者について、本制度が市内民間保育施設への就職の決定にどの程度影響したのか、本人又は勤務先へ確認しているのか伺う。	こども局長

令和8年 第3回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		⑤潜在保育士の復職を促すため、例えば、直近1年以上保育士として勤務していない者が市内民間保育施設へ常勤保育士として復職した場合を対象とするなど、保育士奨学金返済支援事業の要件を緩和すべきと考えるが、市長の見解を伺う。	市長
		⑥0歳から2歳児の保育料無償化による保育需要の増加や、今後見込まれる1歳児及び2歳児の定員不足に、現在の保育士確保策で対応できると考えているのか。また、潜在保育士の復職支援、処遇改善及び離職防止を含め、今後どのように保育士の確保・定着を進めるのか、市長の見解を伺う。	市長
4	新型コロナワクチン接種事業について	①令和6年度以降の接種見込み人数、実際の接種者数、1人当たりの市負担額、市の負担総額の推移を伺う。	健康スポーツ 部長
		②本市は、新型コロナワクチンの有効性及び安全性をどのように評価しているのか。また、その評価の根拠を伺う。	健康スポーツ 部長
		③令和7年度及び令和8年度の新型コロナワクチン接種について、1人当たり6,300円を市費で負担することとした根拠を伺う。	健康スポーツ 部長
		④今後も同程度の公費負担を継続する考えなのか。また、その判断に当たり、接種状況、有効性、安全性並びに国及び他自治体の動向をどのように考慮するのか、市長の見解を伺う。	市長
		⑤限られた財源の中で、現在の新型コロナワクチンへの公費負担を維持することについて、他の行政課題との優先順位をどのように判断しているのか、市長の見解を伺う。	市長

2026年 第3回 定例会 一般質問通告書



2026年8月21日提出

加須市議会議長 金子 正則 様

次のとおり通告します。

 通告番号
(発言順序)

20

議席番号 24 番 氏名 佐伯由恵

	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	教育委員会のパワーハラスメント及び長時間労働の問題について	◆職場におけるパワーハラスメントは、個人の尊厳や人格を不当に傷つける人権侵害であり、絶対に許されるものではない。ところが、子どもの教育を担う教育委員会の中核で、上司のパワハラ行為や長時間労働によって職員が精神及び身体に支障をきたす憂慮すべき事態となっている。パワハラ行為に厳正に対処し、長時間労働を解消するとともに、働きやすい職場で職員が健康で安心して子ども達のために力が発揮できるよう以下のことについて質問する。 ① パワーハラスメントを防止する労働施策総合推進法及び市要綱は相談窓口の設置を義務づけているが、機能しているのか。相談窓口及び相談件数について説明を求める。 ② 教育委員会における5ヵ年（今年度を含む）の病休・休職者の状況について説明を求める。 ③ 学校教育課職員の長時間労働及び休日出勤の実態について、説明を求める。 ④ パワハラを受けた職員及び家族が教育委員会に対し被害を訴え、事実関係の調査、行為者に対する措置、再発防止策等を要請した。市の対応等について説明を求める。	総務部長 生涯学習部長 学校教育部長 学校教育部長 市 長

2枚中 / 1枚目

R2. 5. 15~

2026年 第3回 定例会

	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		⑤ 学校現場を指導・助言する立場の教育委員会でパワハラが発生し、また長時間労働が常態化している問題に対し、教育委員会を統括する教育長はどう受け止めているかを問う。 ⑥ 日本弁護士会連盟「地方公共団体における第三者調査委員会等指針」に基づき、公正・中立性を堅持し、専門的な立場からパワハラの事実関係の究明、把握、認定の報告及び再発防止策等の提言を行うため、第三者調査委員会の設置を求める。市長の考えを問う。	教育長 市 長
2	市立小中学校再編の基本計画について	◆教育委員会は小・中学校再編に向け、今後20年間の基本計画を策定する計画である。そこで、以下について質問する。 ① 教育委員会が実施した「意見募集」の結果について、また結果を計画にどのように反映するのか、説明を求める。 ② 基本計画の20年後の児童生徒数は何を根拠に推計したのか、また将来のまちづくりを問う	生涯学習部長 教育長 生涯学習部長 市 長
3	災害時の避難所整備について	◆学校は教育、地域の拠点と同時に災害時の避難所として重要な役割を担っている。激甚化する災害のもとで避難生活も長期化し、体育館のエアコン設置は急務となっている。そこで、以下について質問する。 ① 「公立学校施設の空調設備設置状況調査」(文科省)の県内の設置状況について説明を求める ② 中学校に続き早急に小学校体育館に設置を、市長の考えを問う	生涯学習部長 市 長